

みどりとともに

第 29 号

2015 年 1 月 1 日

一般社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ	2
神栖市における海岸防災林の整備について	3
マルチキャビティコンテナ苗について	4
五感が働く自然の恵みを楽しもう	5
協会だより	6~7
平成26年度 治山・林道関係コンクール審査委員会開催	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(一社)茨城県治山林道協会会長 山口伸樹



新年あけましておめでとうございます。皆様方には、清々しい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の運営に際しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、例年にも増して気象災害が多発した年でありました。2月には、発達した低気圧による大雪・暴風雪、7月から8月にかけては台風第11号・第12号と前線による大雨と暴風、10月には台風第18号による大雨と暴風など本県をはじめ列島各地で甚大な被害が生じました。

森林は、このような災害から県土を保全するとともに、地球温暖化の防止や水源のかん養をはじめ様々な機能により県民の生活を守る大きな役割を果たしておりますが、これら機能の発揮には適

切な森林の整備が不可欠であります。

県では、木を植え、育て、伐採し木材を有効活用する「緑の循環システム」の確立による林業・木材産業の活性化と機能豊かな森林づくりを進められているところであり、昨年4月には「県産木材利用促進条例」が施行されるなど、森林の整備に積極的に取り組まれておりますが、その基盤となる林道・作業道の整備や保安林整備をはじめとする治山事業を推進することもきわめて重要であると考えております。

当協会といたしましても、昨年4月に一般社団法人として再出を図ったところであり、今後とも関係機関と連携し治山・林道事業が円滑かつ効率的に推進されるよう一層の努力をして参る所存でございますので、本年もなお一層のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様方にとりまして新しい年が希望に満ちた年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 鈴木哲也



新年明けましておめでとうございます。平成27年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

さて、東日本大震災の発生から間もなく4年が経とうとしておりますが、県では農林水産生産基盤の復旧を最優先に進め、現在までに林道や治山施設については全て完了いたしました。

また、大震災の津波により、沿岸部では防潮護岸の損壊など大きな被害が生じたところであり、県では現在、沿岸部の津波対策を進めているところでございます。このうち、海岸防災林における対策につきましては、地震や津波の専門家からなる茨城沿岸津波対策検討委員会において示された「目指すべき堤防の高さ」を踏まえ、平成27年度

までの集中復興期間内に整備を完了することを目標に、防潮護岸の嵩上などの整備を鋭意進めてまいります。

一方、森林・林業の活性化につきましては「茨城県森林・林業振興計画」に基づき、森林湖沼環境税を活用した緊急間伐や平地林の整備、津波に強い海岸防災林の再生等を推進するほか、全国的に多発する山地災害の防止に向け、予防治山など対策を強化してまいります。

今後とも、機能豊かな森林づくりを推進してまいりますとともに、元気な農林水産業の実現に向けて努力してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。

神栖市における海岸防災林の整備について

茨城県鹿行農林事務所 林業振興課

本県最南端に位置する神栖市の海岸線には約16.1kmにおよぶ海岸防災林(飛砂防備保安林等)があり、沿岸地域の生活関連施設や耕地等を飛砂や潮風害から守る重要な役割を果たしています。

また、東日本大震災では、神栖市も津波被害を受けましたが、人工砂丘が津波被害を軽減する効果が見られ、改めて防災上の重要性を認識させられました。

本県の海岸防災林は、大正5年(1916年)から造成が始められましたが、海岸砂地への植栽はさらに古く、弘化8年(1845年)に柳川宗左衛門が利根川河口近くの海岸砂地(現神栖市波崎地区)にクロマツを植栽したのが最初で、飛砂に悩む地元住民が何度も失敗をくり返しながら、根気強く植えてきました。



保安林緊急改良事業による植栽

また、昭和46年には本県で初めて松くい虫被害が確認され、昭和53～54年には被害がピークに達し、その後減ってはいるものの現在も続いています。

このように、海岸防災林は、強潮風等の気象条件や砂質土壌、病虫害などその生育環境条件は極めて悪い上に、近年では、供給される土砂の減少等により海岸の浸食が防災林にまで迫っている状況にあります。



植栽後10年経過した松林

海岸防災林という先人達が守ってきた貴重な財産を後世に残していくために、当事務所では、神栖市と連携し、平成25年2月に海岸防災林整備方針を作り、平成28年度を目途に沿岸16.1kmについて、防潮護岸の整備や人工砂丘の造成、植林、静砂垣や防風垣の敷設などを計画的に実施することとしています。

今後も県と市、地域住民が協力して、地域の貴重な森林としての海岸防災林の維持に努めていきたいと考えています。





マルチキャビティコンテナ苗について

茨城県林業種苗協同組合

◎ はじめに

近年では、森林資源への期待が高まる一方、木材価格は低迷を続けています。また、林業の採算性の悪化に伴い、森林所有者の再造林意欲の低下が問題になっています。こうした状況にあって、造林を低コストで実施することは、再造林促進の重要な課題と位置付けられており「今までに無い新たな苗」による低コスト造林の実現に大きな期待が寄せられております。

特に造林・保育の分野でのマルチキャビティコンテナ苗を導入することでコスト削減の実現に期待がよせられております。しかし、一般的には森林所有者などへ普及していないことから「コンテナ苗はどのような苗ですか」という問い合わせが来るなど、まだコンテナ苗を知らない人が多いのが実態です。

◎ コンテナ苗とは

普通苗は、苗畑で生育した苗を根が裸の状態掘り取って出荷するものです。一方、コンテナ苗とは、多数のキャビティ(育成孔)を連結し一体成型したマルチキャビティコンテナに培地を充填し育苗された苗木のことをいいます。苗はキャビティの形状に沿って生長するため、円柱状に成型された根鉢を持つ「鉢付き苗」となります。なお、コンテナ苗の場合、育苗環境が密植状態であるため、地上部と地下部のバランスについては、普通苗に比べて徒長気味に見え、枝張りや根元径は、小さくなる傾向があります。また、従来ポット苗で課題となっていた根巻きによる根系の変形が無く、均等な根系構造となっていることが特徴で、根の伸長停止と併せてコンテナ内の根に新たな分岐が生じ、細根が発達した根系に生長します。

培地の成分や肥料の添加配分などについては、常時研究が重ねられており、地域の特性や気象条件

に適応した苗木の生産が全国各地で取り組まれています。



クロマツコンテナ植栽
(宮城県仙台市若林区荒浜)

◎ 抵抗性クロマツコンテナ苗について

コンテナ苗は、スギ苗やクロマツ苗があり、東北では東日本大震災により被災した海岸防災林の復旧用苗木として抵抗性クロマツコンテナ苗の植栽を開始しております。当苗組においても、今後需要が見込める抵抗性クロマツコンテナ苗の生産を開始致しました。今後、このコンテナ苗による植栽作業等のメリットを活かし、本県の海岸防災林の再生に向けて役立てていきたいと考えております。

◎ おわりに

コンテナ苗による造林は、県内の公共事業が主であり、私有林での利用は進んでいません。今後は、市町村担当者や一般森林所有者に対する利用促進が課題でありますので、苗の特性などについて理解しやすい資料等を作成し普及していくことが必要だと考えております。

当苗組として、低コスト造林技術の一つとなるコンテナ苗の利用促進を目指して、より一層、努力していきたいと考えておりますので、県及び林業関係団体の皆様のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

五感が働く自然の恵みを楽しもう

公益社団法人 茨城県農林振興公社

那珂市にあります「茨城県自然観察施設」は、指定管理者として公益社団法人 茨城県農林振興公社がその管理・運営を行っています。

茨城県自然観察施設は、県民の方々が自然に親しみ、休養し、自然に関して学習する場として茨城県が設置した施設です。

施設は、「茨城県民の森」、「茨城県植物園」、「茨城県鳥獣センター」、「茨城県森のカルチャーセンター」及び「茨城県きのこ博士館」の5つが整備され、樹木や草花、野生鳥獣、きのこなどが学び楽しめる一体的な施設となっています。総面積は、79.5ヘクタールあります。

茨城県民の森は、明治100年を記念して昭和43年に整備されました。広さは約65ヘクタールで、野生植物の観察や野鳥のさえずりを楽しむことができます。

近年では、健康志向も相まって自然林の中を散策する人たちやウォーキングを楽しむ人たち、グループでトレーニングコースとして利用する人たちなど思い思いの楽しみ方で利用されています。

茨城県植物園は、12ヘクタールの敷地に約600種、約5万本の樹木や草花などが四季折々に違った表情を見せてくれます。中でも県の木、梅の花を形どった高さ22メートルの熱帯植物館は、熱帯・亜熱帯に生息する植物約240種約23,000本が観察できます。



春の植物園

恒例のナイトガーデンでは、夜になると匂いをただ酔わせる植物などナイトツアーで楽しむことができます。



ナイトガーデン点灯

茨城県鳥獣センターは、野生鳥獣の救護施設として、救護された野生鳥獣を手当し、元気になったら自然に帰すことを目的に管理運営が行われています。

茨城県森のカルチャーセンターは、森の中で羽を休ませている鳥をイメージして建てられ、木のぬくもりや森林・林業が私たちの生活に果たしている役割の大切さを学べます。

茨城県きのこ博士館は、きのこや山菜の種類、生態のほか特産林産物などが学べます。秋には、野生きのこの同定相談も行っていますのでご利用下さい。

茨城県農林振興公社では、この自然観察施設でみなさんが四季の移り変わりに感動体験・体感しながら憩い、学び、寛げる施設としていろいろな催事イベントを企画していますので、日頃の疲れをリフレッシュする施設としてご利用下さい。

〔問い合わせ〕

公益社団法人 茨城県農林振興公社
施設管理部 TEL 029-295-2150

(6) みどりとともに

協会だより

1. 治山・林道関係コンクール審査委員会開催

平成26年8月18日(月)、水戸市において平成26年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催しました。

この審査会は、コンクール実施要領に基づいて毎年行っているもので今年度は、6月26日付けで、会員の市町村に林道維持管理コンクール実施の通知を行ったほか、各農林事務所にコンクール対象工事箇所の推薦依頼をしました。

その結果、今年度は治山工事・林道工事・治山・林道木材使用工事・林道維持管理各コンクール併せて14件が対象となりました。

コンクール対象箇所の現地の状況や工事の完成度など現地確認を行いました。

審査委員会当日は、水越林業課長の進行により、現地確認の結果や現地写真等を参考にして、審査委員の協議により順位を決定しました。

審査委員名簿・審査の結果は次の通りです。

《審査委員名簿》 ◎委員長 ○副委員長

所属課所	職名	氏名
茨城県農林水産部 林業課	課長	◎ 水越 健夫
茨城県農林水産部 林政課	首席検査監	○ 益子 仁治
県北農林事務所	林務部門長	加藤 智久
県北農林事務所 林務部門	大子分室長	磯野 隆行
県央農林事務所	振興・環境室長	糸賀 秀徳
鹿行農林事務所	振興・環境室長	白石 貴男
県南農林事務所	振興・環境室長	加藤 剛広
県西農林事務所	振興・環境室長	川田 和弘
(一社)茨城県 治山林道協会	専務理事	鬼澤 昭和

《審査の結果》

1. 治山工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	H24 補正・繰越 第9号 海岸防災林造成	(株)波崎建設 神 栖 市	
2	H24 補正 第4号 復旧治山	(有)黒澤組 常陸太田市	
3	H24 補正 第5号 復旧治山	(株)若葉工務店 常陸大宮市	
4	H24 補正 第9号 予防治山	(有)会沢土建 常陸太田市	
特別賞	H24 第5号 予防治山	大森建設(株) 大 子 町	中央 推薦



治山工事「第9号 海岸防災林造成事業」
(株)波崎建設

2. 林道工事

該当なし

3. 治山・林道木材使用工事【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	H25 第10号 県単保安林整備	(有)グリーン巴 石 岡 市	治山工事

(写真は、次のページへ)



木材使用工事「第10号 県単保安林整備事業」
(有)グリーン巴

4. 林道維持管理

順位	路線名	管理者	備考
1	福岡線	常陸大宮市	
2	八溝線	大子町	中央推薦
3	福田羽衣線	笠間市	



林道維持管理「福岡線」 常陸大宮市

★ コンクール対象工事の中から中央協会主催のコンクールに推薦しました。

なお、推薦する工事については、中央協会の実施要領に基づき決定し、結果は次の通り受賞が決まりました。

◎ (一社)日本治山治水協会長賞

- ・ 治山工事コンクール
第5号 予防治山事業 (大子町) 大森建設(株)

◎ 日本林道協会長賞

- ・ 林道維持管理コンクール
八溝線

大子町

『グリーンフェスティバル2014』 が開催されました

平成26年10月26日(日)、常陸大宮市・常陸太田市の「宮の郷工業団地」において茨城県と公益社団法人茨城県林業協会主催でグリーンフェスティバル2014が開催されました。

グリーンフェスティバルは、「県民全体で森林を守り育てていこう」という気運の醸成を図ることを目的に平成9年に保安林制度100年を記念し開催されて以来、茨城県と林業関係団体が協力して開催してきました。

本年4月の県産木材利用促進条例の制定を契機に「いばらき木づかい運動の推進」と「緑の循環システムの確立」を全国に発信し、林業・木材産業の活性化と機能豊かないばらきの森林づくりを推進することを目的としています。

当日は、天気にも恵まれ約3,000名が来場しました。記念式典では、林業関係各種コンクール表彰が行われました。各種イベントでは、木の工場見学ツアーやミニ上棟式、木のおもちゃづくり、丸太切り体験、箸づくり体験、スタンプラリー、その他にも飲食コーナーなど多彩な出展で賑わいました。

当協会でも、実際に測量機械に触れてもらうため『測量体験』を行ないました。子ども達をメインに71名の参加がありました。



測量体験の様子

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- ▲ 7月 1日～3日
役員現地研修会(熊本県)
- 7月 3日～4日
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会
第35回通常総会(神奈川県)
- 7月30日
公有林野全国協議会 通常総会(東京都)
- ▲ 8月 7日
関東甲静地区 平成27年度治山林道事業
林野庁・中央協会へ要望活動(東京都)
- 8月18日
茨城県民有林治山・林道関係コンクール
審査委員会(水戸市)
- 8月25日
「グリーンフェスティバル2014」第1回実行
委員会(水戸市)
- ▲ 9月 9日
(一社)日本治山治水協会 定時総会(東京都)
- ▲ 10月 3日～4日
第51回全国林材業労働災害防止大会(千葉県)
- 10月 8日
「緑の雇用」現場技能者育成対策事業 林業作
業士集合研修の講師(笠間市)
- 10月 8日～9日
第54回治山研究発表会及び
第52回治山シンポジウム(東京都)
- 10月 9日～10日
全国治山林道協会会長会議(岩手県)
- 10月12日
第38回全国育樹祭(山形県)
- 10月16日
「グリーンフェスティバル2014」実施本部
各班長・副班長等打合せ会議(水戸市)
- 10月26日
グリーンフェスティバル2014(常陸大宮市)
- 10月27日
第2回理事会(水戸市)
- 10月30日
事業体経営計画と提案型集約化施業セミナー
(水戸市)
- ▲ 11月10日～11日
北関東治山林道協会連絡会議(群馬県)
- 11月13日
平成26年度茨城県表彰式(水戸市)
- 11月17日
日本林道協会 理事会・通常総会(東京都)
治山・林道コンクール表彰式(東京都)
- 11月18日
茨城県農林水産業関係団体連絡会県選出国会
議員との懇談会(東京都)
- 11月30日
第11回みどりの羽根チャリティーゴルフ大会
(常陸大宮市)
- ▲ 12月 4日～5日
台風18号災に係る林道災害査定
- 12月 4日
打越芳男氏旭日小綬章受章記念祝賀会(水戸市)
- 12月 5日
林道施設災害復旧事業研修会(水戸市)
- 今後の予定
- 1月 9日
明日の茨城づくり新春の集い
- 1月22日
全国治山林道協会会長会議
民有林振興会総会・セミナー
- 1月23日
平成27年林業団体合同新年の集い

「みどりとともに」

(年2回 発行)

一般社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「西金つつじヶ丘から初冬の
男体山系を望む」
久慈郡大子町西金
神長輝夫氏撮影